平成 25 年 3 月 5 日

センター機関推進プロジェクト平成 24 年度実施報告書

報告者名：松田康博

（1）　プロジェクト全体計画（概要・目的・意義など）

・タイトル：台湾現代史貴重史料の収集・整理

・趣旨・全体計画：申請者は、これまで長年にわたり台湾現代史貴重史料を私費で収集してきた。東文研に移ってからは個人研究費などを使って収集を継続した。これらの史料の多くは台湾の図書館を含めて、どこにも公開されていない貴重なものである（流出した政府の機密文書を含む)。ただし、従来は個人的努力に依存しており、高価だったため、貴重資料の収集のチャンスを逃したこともあった。こうした貴重資料の収集をプロジェクトとして予算化し、より系統的・機動的な収集と整理を行うこととしたのが本プロジェクトの趣旨である。

（2）　今年度の進捗状況

平成 25 年 3 月現在、所定の予算と部門基盤構築費を併せ、古書と檔案等を合わせて以下の収集が済んでいる。今年度も資料の整理のための予算が確保できず、全額資料購入に充てた。このため、予算外で昨年度までの資料と併せてエクセルファイルへの書誌情報の入力を進めている。

①古書

資料名
鬥智新論
中国国民党歴次全国代表大会宣言集
空協訓（200）正科班課程
無産階級専政之批判
中国之電信事業
韓戦之教訓
China Handbook 1944
「八・一四」抗日空戦勝利六十周年紀念文集
中日滄桑録

空軍軍官学校第七期同学及眷属状況冊
美蘇航空器識別
金門慶祝古寧頭大捷卅週年専刊
動員時期電信（子）器材管制弁法暨実施規定
国防部動員幹部訓練班学員結業手冊
国防部情報幹部訓練班畢業証書
戦闘與建設（第 5 巻第 1 期）
一九八六年中共交通建設研析
中国外交（1996 年版）
我們為什麽反対費正清
中華戦略学会大陸研究会会員論文専集（五）
柔性攻勢的綜合研究報告
大陸匪情事実與報導英文双周刊中文稿（第 2 巻第 15 期）
中華戦略学会第六次会員大会中心議題資料
我這一輩子
堅持民族大義戦勝一切敵人
研究論文専集（四）
勝利成功之路
共党民主集中制之批判
共党理論批判
中共政治発展
知識分子的心声
莊敬自強破敵勝敵
中共十年経改革的理論與実践
中共建政五十年
両岸関係大事紀（民国八十年）
機密檔案
偉大的登陸
為民主而奉献為理想而奮闘
「十三大」後的中共：人事重組與政策方向
復興基地建設與中国大陸実況比較研究
徐搏九文集
台湾政治風雲
中国研究的規範認識危機
中共徘徊在十字路口
反共義士専輯（第三集）
中華民国国防研究院
鄧小平改革路線研究
中国国民党史
万里萍踪
中共的権力鬥争與路線鬥争
従秘密談判到共赴国難
中日戦争史略（二）
美国戦略導弾防禦計画的動因
莒光講習班教材 　新漢奸来龍去脈

在苦難磨練中更能踴躍歓騰 如何健全思想與組織 如何戦勝敵人 当前世局與国家前途 蒋副院長講詞（一） 蒋副院長講詞（二） 台湾與大陸 台湾與大陸参考資料 総裁訓詞：我們国家敵立場和国民的精神 国際形勢分析 如何在思想戦線上戦勝敵人 如何在組織戦線上戦勝敵人 如何在組織戦線上戦勝敵人（表解） 如何在軍事戦線上戦勝敵人 班主任賴上将講詞（二） 如何健全自己 勝利的歴程 後備軍人管理與組訓 台湾経済建設展望 国民革命経験教訓 建軍備戦的実務 反共闘争報告（組織戦線）展望
大樹浮生録
回顧録：愛槐堂文集
国軍軍語辞典
苦心孤詣堅苦卓絶
涂庭瑶将軍紀念集
覚民文集
沈覲鼎文存
中国戦争大辞典
冒険犯難記（上） 冒険犯難記（下）
戎馬五十年
銭大鈞上将八十自伝
墨三九十自述
第二次中日戦争各重要戦役史料彙編：東北義勇軍
今日新聞文摘版（第 1 巻第 4 期）
中華航業海員党部四十六年度重要工作概況等
精忠報（四部）
我国與隣接国家之国界問題：西伯利亜與中亜細亜部份
余生録憶
Annual Pictorial Magazine of the Flying Tigers of the 14th Air Force Association 1987
中国国民党與中国現代化

②檔案・書簡

資料名

（檔案）華興専案
（擋案）成天専案

③ビラ

資料名
共匪又綏遠新疆出売給俄国人了
参加反共陣営的三項保証
中華民国国防部印頒安全証

④年表類

資料名
俄帝侵華史表解
国民革命軍歴史表解
国父年表

（３）　公開済の（または予定の）具体的な成果物

3 年間で収集した資料および個人でそれまでに収集した貴重な資料のうち、すでに約 9 割をエクセルファイルに入力し、東洋文化研究所図書室に納入済みである。資料群の名称は「現代台湾文庫」（Contemporary Taiwan Collection）となる予定である。未入力の図書・雑誌・ビラ類等に関しては、今年度内に整理・入力し、納入する予定である。これらは図書室で、整理・登録などが済み次第、平成 25 年 4 月以降に順次公開される予定である。なお、檔案に関しては、整理・入力に大変な時間がかかることが判明し、図書室と相談の上進めているものの、平成 25 年度にまたがる可能性が高い。檔案資料は全体から見ると僅かな割合しかないが、資料的価値が非常に高いため、平成 25 年度のできるだけ早い時期に公開できるよう、細目の入力作業を速めたいと考えている。なお、平成 25 年度の「中華圏現代史貴重史料の収集・整理」プロジェクトが採用された場合、将来その収集の成果とともに、『東洋学研究情報センター叢刊』にまとめて公表するか、あるいは簡易版の「現代台湾文庫目録」を東洋文化研究所のホームページに公表するなどして、宣伝広報を行う予定である。

以上